

平成30年度

御殿場市原里財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見書

御殿場市監査委員



31 御 監 第 198 号  
令和元年8月21日

御殿場市原里財産区 管理者  
御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 鈴木 健  
御殿場市監査委員 勝間田 博文

平成30年度御殿場市原里財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、平成30年度御殿場市原里財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 平成30年度御殿場市原里財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 第1 審査の対象

- 1 平成30年度御殿場市原里財産区特別会計歳入歳出決算
- 2 実質収支に関する調書
- 3 財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和元年7月5日から8月20日まで

## 第3 審査の方法

審査は、決算及び同附属書類が関係法令に準拠して作成されているか、計数が正確に表示されているかを確認し、また、予算の執行状況等について関係職員から説明を聴取し、例月現金出納検査の結果を参考としながら実施した。

## 第4 審査の結果

決算及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であると認められた。また、予算の執行についても適正であると認められた。

以下、審査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。  
また、執行率は 99.95% ～ 99.99% の場合 99.9% としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。  
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの  
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの  
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの  
「 △ 」 … マイナスのもの

# I 決算の状況

## 1 決算総括

本年度の予算執行状況及び決算収支状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

予算執行状況及び決算収支状況

(単位:円・%)

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	増減率
予 算 額	当 初 予 算 額	1,294,879,000	1,033,016,000	261,863,000	25.3
	補 正 予 算 額	58,371,000	83,817,000	△ 25,446,000	—
	予 算 現 額	1,353,250,000	1,116,833,000	236,417,000	21.2
歳 入	調 定 額	1,353,889,404	1,117,469,386	236,420,018	21.2
	歳 入 決 算 額	1,353,889,404	1,117,469,386	236,420,018	21.2
	対 予 算 現 額 収 入 率	100.0	100.1	△ 0.1	—
	対 調 定 額 収 入 率	100.0	100.0	—	—
	不 納 欠 損 額	0	0	0	—
	収 入 未 済 額	0	0	0	—
歳 出	歳 出 決 算 額	1,096,518,059	842,362,103	254,155,956	30.2
	執 行 率	81.0	75.4	5.6	—
	翌 年 度 繰 越 額	0	0	0	—
	不 用 額	256,731,941	274,470,897	△ 17,738,956	△ 6.5
収 支	歳 入 歳 出 差 引 額 ( 形 式 収 支 )	257,371,345	275,107,283	△ 17,735,938	△ 6.4
	翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源	0	0	0	—
	実 質 収 支	257,371,345	275,107,283	△ 17,735,938	△ 6.4
	単 年 度 収 支	△ 17,735,938	44,342,718	△ 62,078,656	—

(注) 1 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度へ繰り越すべき財源

2 単年度収支 = 本年度実質収支 - 前年度実質収支

- (1) 本年度の当初予算額は 1,294,879千円で、補正予算額 58,371千円を加えた最終予算額は 1,353,250千円となり、前年度に比べ 236,417千円(21.2%)増加している。
- (2) 決算状況は、歳入総額 1,353,889千円、歳出総額 1,096,518千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は 257,371千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源が皆無のため、実質収支は 257,371千円の黒字となっている。実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 17,736千円の赤字となっている。

- (3) 歳入決算額は 1,353,889千円で、前年度に比べ 236,420千円(21.2%)増加している。  
収入率は、予算現額に対し 100.0%、調定額に対し 100.0%である。

歳入決算額の主なものは、財産貸付収入 884,684千円(構成比 65.3%)、繰越金 275,107千円(同 20.3%)である。

増加した主なものは、基金繰入金 190,000千円(皆増)である。

減少した主なものは、利子及び配当金 778千円(25.4%)である。

- ① 基金繰入金が増加したのは、歳入不足を補うため財政調整基金の取り崩しを行ったためである。
- ② 利子及び配当金が減少したのは、定期預金の利率が下がったことにより利子が減少したためである。

財産貸付収入のうち演習場土地貸付料は 867,901千円で、歳入総額の 64.1%を占めている。

- (4) 歳出決算額は 1,096,518千円で、前年度に比べ 254,156千円(30.2%)増加している。  
執行率は 81.0%で、前年度に比べ 5.6ポイント上回っている。

歳出決算額の主なものは、繰出金 875,912千円(構成比 79.9%)、財産管理費 159,529千円(同 14.5%)である。

増加した主なものは、繰出金 470,566千円(116.1%)である。

減少した主なものは、財産管理費 219,391千円(57.9%)である。

- ① 繰出金が増加したのは、都市建設部事業繰出金(道路改良(道路新設、地域関連道路外)事業)の減少があったものの、市民部事業繰出金(神場区公民館建設工事、原里地区広場指定管理料)、教育部事業繰出金(小中学校空調設備整備工事、中学校環境整備事業)等の増加が上回ったためである。
- ② 財産管理費が減少したのは、委託料が減少したためである。

不用額は 256,732千円で、前年度に比べ 17,739千円(6.5%)減少している。

不用額の主なものは 予備費 159,229千円、繰出金 85,374千円である。

なお、予備費を除く不用額は 97,503千円で、前年度に比べ 41,238千円(73.3%)増加している。

(5) 市会計への繰出金の状況は、次のとおりである。

市会計への繰出金の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 30 年 度	平成 29 年 度	比 較 増 減	増 減 率
市 事 業 関 係	875,509,484	405,346,417	470,163,067	116.0
人 件 費 関 係	24,992,753	22,156,393	2,836,360	12.8
選 挙 関 係	402,826	0	402,826	皆増
合 計	900,905,063	427,502,810	473,402,253	110.7

また、主な市事業関係への繰出金の状況は、次のとおりである。

・企画部関係	800千円
・総務部関係	6,661千円
原里愛郷会館維持管理業務	4,947千円
・市民部関係	378,471千円
神場区公民館建設工事	325,782千円
原里地区広場指定管理料	15,736千円
原里地区広場施設管理事業	16,262千円
・健康福祉部関係	114,777千円
保育所費	60,000千円
・環境部関係	200千円
・産業スポーツ部関係	36,335千円
市体育館整備改修事業	25,000千円
・都市建設部関係	128,189千円
道路改良事業（道路新設・地域関連道路外）	108,181千円
・教育部関係	201,161千円
地区地域づくり事業	26,927千円
小・中学校空調設備整備工事	62,811千円
中学校環境整備事業(原里中学校)	57,604千円
・消防本部関係	3,271千円
・会計課関係	36千円
・危機管理課関係	5,463千円
原里火防隊運営事業	4,500千円
・下水道特別会計関係	196千円

(6) 予備費(議決予算額 159,229千円)は、本年度の執行はなかった。

## II 財産に関する調書

公有財産、物品、基金の状況は、次のとおりである。

### 1 公有財産

#### (1) 土地及び建物

(単位: m<sup>2</sup>・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率
土 地	5,757,424.18	5,749,193.44	8,230.74	0.1
5 財 産 区 共 有 地 ( 持 分 1 / 5 )	14,203.00	14,203.00	0.00	—
建 物 ( 非 木 造 ) ( 延 面 積 )	197.12	197.12	0.00	—

※5財産区共有地は所有権を持分登記しているため、地積の合計に含めない。

##### ① 土地

土地の年度末総面積は 5,757,424.18m<sup>2</sup>で、新たな土地取得により 8,230.74m<sup>2</sup>(0.1%)増加している。

##### ② 建物

建物(非木造)の年度末総面積は 197.12m<sup>2</sup>で、年度中の増減はなかった。

#### (2) 山林

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率 ( % )	
山 林	所 有 ( m <sup>2</sup> )	1,168,166.61	1,164,261.61	3,905.00	0.3
	分 収 ( m <sup>2</sup> )	1,200,603.00	1,200,603.00	0.00	—
	合 計 ( m <sup>2</sup> )	2,368,769.61	2,364,864.61	3,905.00	0.2
立木の推定蓄積量 ( m <sup>3</sup> )	36,658.00	36,521.00	137.00	0.4	

##### ① 山林

山林の年度末総面積は 2,368,769.61m<sup>2</sup>で、前年度に比べ 3,905.00m<sup>2</sup>(0.2%)増加している。  
これは主に先述の土地の増加によるものである。

##### ② 立木

立木の推定蓄積量は年度末現在 36,658.00m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 137.00m<sup>3</sup>(0.4%)増加している。  
この増加の要因は、先述の土地の増加及び生育による自然増加等である。

### (3) 有価証券

(単位:円・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比較増減	増減率
株 券	108,000	108,000	0	—

出資金の年度末現在高は 108千円で、年度中の増減はなかった。

### (4) 出資による権利

(単位:円・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比較増減	増減率
御殿場市森林組合出資金	1,200,000	1,200,000	0	—

出資金の年度末現在高は 1,200千円で、年度中の増減はなかった。

## 2 物 品

(単位:品・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比較増減	増減率
物 品	8	7	1	14.3

物品は年度末現在 8品で、財産管理用備品 1品の増加があった。

(なお、物品は、取得価格または評価額が100万円以上のものについて集計した。)

## 3 基 金

(単位:円・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比較増減	増減率
財 政 調 整 基 金	1,557,425,496	1,745,155,878	△ 187,730,382	△ 10.8

基金は財政調整基金で、年度末現在高は 1,557,425千円であり、前年度に比べ 187,730千円(10.8%)の減少となった。この内訳は、基金利子 2,270千円の積み増し及び元金 190,000千円の取り崩しである。

付表 第1表 歳入予算執行状況

区 分	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収
			金 額 (C)
1 使用料及び手数料	1,000	0	0
1 使用料	1,000	0	0
1 使用料	1,000	0	0
2 財産収入	886,397,000	886,970,234	886,970,234
1 財産運用収入	886,394,000	886,970,234	886,970,234
1 財産貸付収入	884,122,000	884,684,416	884,684,416
2 利子及び配当金	2,272,000	2,285,818	2,285,818
2 財産売払収入	3,000	0	0
1 不動産売払収入	1,000	0	0
2 生産物売払収入	1,000	0	0
3 物品売払収入	1,000	0	0
3 繰入金	190,000,000	190,000,000	190,000,000
1 基金繰入金	190,000,000	190,000,000	190,000,000
1 基金繰入金	190,000,000	190,000,000	190,000,000
4 繰越金	275,107,000	275,107,283	275,107,283
1 繰越金	275,107,000	275,107,283	275,107,283
1 繰越金	275,107,000	275,107,283	275,107,283
5 諸収入	1,745,000	1,811,887	1,811,887
1 預金利子	1,000	51,424	51,424
1 預金利子	1,000	51,424	51,424
2 雑入	1,744,000	1,760,463	1,760,463
1 損害補償料	770,000	783,900	783,900
2 雑入	974,000	976,563	976,563
合 計	1,353,250,000	1,353,889,404	1,353,889,404

(単位:円・%)

入 済 額			不 納 欠 損 額 (D)	収 入 未 済 額 (B-C-D)	予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 差 (C-A)
構 成 比	収 入 率				
	対 予 算	対 調 定			
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
65.5	100.1	100.0	0	0	573,234
65.5	100.1	100.0	0	0	576,234
65.3	100.1	100.0	0	0	562,416
0.2	100.6	100.0	0	0	13,818
—	—	—	0	0	△ 3,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
14.0	100.0	100.0	0	0	0
14.0	100.0	100.0	0	0	0
14.0	100.0	100.0	0	0	0
20.3	100.0	100.0	0	0	283
20.3	100.0	100.0	0	0	283
20.3	100.0	100.0	0	0	283
0.2	103.8	100.0	0	0	66,887
0.0	—	100.0	0	0	50,424
0.0	—	100.0	0	0	50,424
0.2	100.9	100.0	0	0	16,463
0.1	101.8	100.0	0	0	13,900
0.1	100.3	100.0	0	0	2,563
100.0	100.0	100.0	0	0	639,404

付表 第2表 歳出予算執行状況

区 分	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額		
		金 額 (B)	構 成 比	執 行 率
1 議会費	29,139,000	28,262,266	2.6	97.0
1 議会費	29,139,000	28,262,266	2.6	97.0
1 議会費	29,139,000	28,262,266	2.6	97.0
2 総務費	203,596,000	192,343,483	17.5	94.5
1 総務管理費	33,804,000	32,814,806	3.0	97.1
1 一般管理費	33,804,000	32,814,806	3.0	97.1
2 財産管理費	169,792,000	159,528,677	14.5	94.0
1 財産管理費	169,792,000	159,528,677	14.5	94.0
3 諸支出金	961,286,000	875,912,310	79.9	91.1
1 繰出金	961,286,000	875,912,310	79.9	91.1
1 繰出金	961,286,000	875,912,310	79.9	91.1
4 予備費	159,229,000	0	—	—
1 予備費	159,229,000	0	—	—
1 予備費	159,229,000	0	—	—
合 計	1,353,250,000	1,096,518,059	100.0	81.0

(単位:円・%)

翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 差 (A-B)
0	876,734	876,734
0	876,734	876,734
0	876,734	876,734
0	11,252,517	11,252,517
0	989,194	989,194
0	989,194	989,194
0	10,263,323	10,263,323
0	10,263,323	10,263,323
0	85,373,690	85,373,690
0	85,373,690	85,373,690
0	85,373,690	85,373,690
0	159,229,000	159,229,000
0	159,229,000	159,229,000
0	159,229,000	159,229,000
0	256,731,941	256,731,941

付表 第3表 歳入決算額前年度比較表

## 歳入

(単位:円・%)

区 分	平成 30 年 度		平成 29 年 度		比較増減 (A-B)	増減率
	決 算 額 (A)	構成比	決 算 額 (B)	構成比		
1 使用料及び手数料	0	—	0	—	0	—
1 使用料	0	—	0	—	0	—
1 使用料	0	—	0	—	0	—
2 財産収入	886,970,234	65.5	884,915,304	79.2	2,054,930	0.2
1 財産運用収入	886,970,234	65.5	884,676,796	79.2	2,293,438	0.3
1 財産貸付収入	884,684,416	65.3	881,613,306	78.9	3,071,110	0.3
2 利子及び配当金	2,285,818	0.2	3,063,490	0.3	△ 777,672	△ 25.4
2 財産売払収入	0	—	238,508	0.0	△ 238,508	皆減
1 不動産売払収入	0	—	0	—	0	—
2 生産物売払収入	0	—	238,508	0.0	△ 238,508	皆減
3 物品売払収入	0	—	0	—	0	—
3 繰入金	190,000,000	14.0	0	—	190,000,000	皆増
1 基金繰入金	190,000,000	14.0	0	—	190,000,000	皆増
1 基金繰入金	190,000,000	14.0	0	—	190,000,000	皆増
4 繰越金	275,107,283	20.3	230,764,565	20.6	44,342,718	19.2
1 繰越金	275,107,283	20.3	230,764,565	20.6	44,342,718	19.2
1 繰越金	275,107,283	20.3	230,764,565	20.6	44,342,718	19.2
5 諸収入	1,811,887	0.2	1,789,517	0.2	22,370	1.3
1 預金利子	51,424	0.0	37,824	0.0	13,600	36.0
1 預金利子	51,424	0.0	37,824	0.0	13,600	36.0
2 雑入	1,760,463	0.2	1,751,693	0.2	8,770	0.5
1 損害補償料	783,900	0.1	776,004	0.1	7,896	1.0
2 雑入	976,563	0.1	975,689	0.1	874	0.1
合 計	1,353,889,404	100.0	1,117,469,386	100.0	236,420,018	21.2

付表 第4表 歳出決算額前年度比較表

## 歳出

(単位:円・%)

区 分	平成 30 年 度		平成 29 年 度		比較増減 (A-B)	増減率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
1 議会費	28,262,266	2.6	28,361,170	3.4	△ 98,904	△ 0.3
1 議会費	28,262,266	2.6	28,361,170	3.4	△ 98,904	△ 0.3
1 議会費	28,262,266	2.6	28,361,170	3.4	△ 98,904	△ 0.3
2 総務費	192,343,483	17.5	408,654,516	48.5	△ 216,311,033	△ 52.9
1 総務管理費	32,814,806	3.0	29,735,281	3.5	3,079,525	10.4
1 一般管理費	32,814,806	3.0	29,735,281	3.5	3,079,525	10.4
2 財産管理費	159,528,677	14.5	378,919,235	45.0	△ 219,390,558	△ 57.9
1 財産管理費	159,528,677	14.5	378,919,235	45.0	△ 219,390,558	△ 57.9
3 諸支出金	875,912,310	79.9	405,346,417	48.1	470,565,893	116.1
1 繰出金	875,912,310	79.9	405,346,417	48.1	470,565,893	116.1
1 繰出金	875,912,310	79.9	405,346,417	48.1	470,565,893	116.1
4 予備費	0	—	0	—	0	—
1 予備費	0	—	0	—	0	—
1 予備費	0	—	0	—	0	—
合 計	1,096,518,059	100.0	842,362,103	100.0	254,155,956	30.2